

# 多くの善意をお寄せいただき、ありがとうございます。

- 《企業・団体 様》 (50音順)
- ★ 株式会社セイミツ 代表取締役 小林 正典 様
  - ★ 株式会社大石電機 代表取締役 大石 典明 様
  - ★ 株式会社片岡電気工事 代表取締役 片岡 雅夫 様
  - ★ 高知市職員労働組合 執行委員長 明坂 浩 様
  - ★ 高知市旅館ホテル協同組合 理事長 宮村 耕賢 様
  - ★ 高知スタンダード石油株式会社 代表取締役 手嶋 邦彦 様
  - ★ 株式会社高知タマモ 代表取締役 濱田 泰亘 様
  - ★ 高知南ライオンズクラブ 会長 竹内 靖 様
  - ★ 三共工業有限公司 代表取締役 飯間 俊一郎 様
  - ★ 株式会社四国清掃工業 代表取締役 森国 勇 様
  - ★ 株式会社四国ポンプセンター 代表取締役 西村 倫彦 様
  - ★ 株式会社シンテック 代表取締役 田所 伸雄 様
- 《個人 様》
- ★ 田所 伸雄 様 (高知市杉井流)

## こどもファンドアドバイザーが お手伝いします☆

子どもたちの活動をサポートする「こどもファンドアドバイザー」。

助成が決まった団体の相談役としてだけでなく、「来年申し込みをしたいんだけど」という場合でも大丈夫です！

「やりたい気持ちはあるけど、どんな活動にすればいいか、わからない」

「みんなの意見をまとめたんだけど方法がわからない」

などなど、ぜひお気軽にご相談ください。

【連絡先】

高知市地域コミュニティ推進課  
(TEL/823-9080)

こどもファンドアドバイザー  
昌中 洋行さん  
(NPO高知市民会議)



制度周知としてご厚意のお願いを、市内企業の代表皆様にさせていただきました。いただいたご厚意の多くを、ご厚意を頂くと、百万円を超える寄付金を実現してまいりました。改めて、この事業の意義を認識し、円滑な運営に邁進していかねば。 (担当 理事長)

【発行元】  
高知市地域コミュニティ推進課  
高知市鷹匠町2丁目1-43  
TEL: 088-823-9080

E-mail: kodomofund@city.kochi.lg.jp  
URL: http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/21/

# こうちこどもファンド 通信

第2号  
(平成24年10月)

編集・発行: 高知市地域コミュニティ推進課 (TEL/823-9080)

編集・発行: 高知市地域コミュニティ推進課 (TEL/823-9080)

## 助成団体の活動を紹介します！

創刊号でも少しご紹介しましたが、今年度の助成団体の子どもたちが、現在、とても元気に活動しています。

今回は各団体がこれまで行なった活動と、今後の活動予定などをご紹介します。ぜひ実際に活動をご覧ください、子どもたちの応援をお願いします！

### あつまれ！土佐子ル ～子どもの、子どもによる、みんなのためのステージ！～



8月26日(日)に要法寺(筆山町)で開催された、高知市こども劇場の夏の交流行事「ザ・縁日」で、子どもが考え、子どもが作る「こどもステージ」を実施しました。

ステージでは、子どもたちの演劇はもちろん、マジックショーも子どもたち自身が行ない、観客の皆さんは大盛り上がり！ステージいっぱい子どもたちの笑顔があふれていました！

今後は、活動をふりかえって報告集をつくり、来年3月の発表会に向けて準備をします。

### 浦戸小学校児童会まちづくりお助けレンジャー

～『かがやけ 元気 前進』をするまをちをつくるう』プロジェクト～

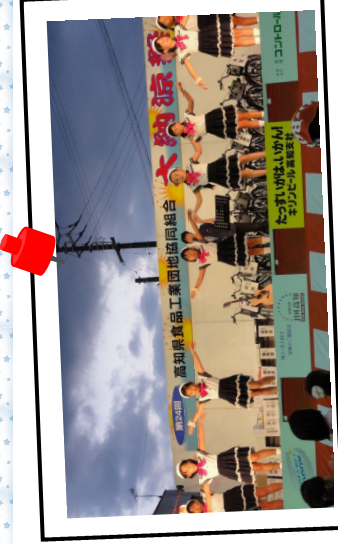
自分たちのまち浦戸が、もっと元気になるように、子どもたちが色々なことにチャレンジします。

すでに、浜の清掃、花海道の花の植替え、夏祭りでの『お化け屋敷』『ダンボール迷路』などのブース主催と、浦戸音頭を披露するなど、活発に活動中です！

今後は、子どもバザーの実施(2月3日(日)予定)や、龍宮祭(3月下旬～4月上旬に開催予定)への参加などを予定しています。



### 大津子ども会連合会「クルック・リングメイツ」



～みんなで手をつなごう「こぼとキカラバン」～

大津地区のお祭りのステージや、老人ホームを訪問し、歌や踊りを披露して、子どもからお年寄りまでの世代間の交流を図り、みんなが「つながる」「元気な」「やさしい」まちを目指します。

現在子どもたちは、人形劇(ペーパーサート)の制作・練習中。完成したら地域の保育園や介護施設を訪問して披露しま

### 編集後記

現在、今年の活動真っ最中ですが、事務局では、来年度の応募受付に向けての準備が始まりました。活動を見に行つて、「何かやりたい!」と思つたら、ぜひご相談くださいな! (や)

取材先で見たのは、脚本や衣装全て手作りの舞台上、大人顔負けのマジック披露等、子どもたちの練習の成果と自分のアイデアを表現していく姿でした。みんなに拍手喝采! (北)

8月のある日、ある助成団体の子どもたちが地域コミュニティ推進課に来課。これから東日本の被災地に出発すること。夏休みも一生懸命頑張つていた子どもたちでした。(つ)

制度周知としてご厚意のお願いを、市内企業の代表皆様にさせていただきました。いただいたご厚意の多くを、ご厚意を頂くと、百万円を超える寄付金を実現してまいりました。改めて、この事業の意義を認識し、円滑な運営に邁進していかねば。 (担当 理事長)



## がんばれ高知工業高校応援隊

～筆山における避難路案内板の設置と保全活動～

南海地震が発生した際の地域の避難場所となる筆山に、避難路案内板を設置して、地域の皆さんが迅速に避難できるよう役立てます。また、地域のシンボル・憩いの場でもある筆山がいつまでもきれいな状態を保てるように、筆山公園の清掃活動を実施します。

9月には筆山の現地調査を行いました！

今後は、冬休み中に案内板の製作等を予定しています。

## キッズ土佐山

～防災意識を高めよう～



土佐山消防分団のシャッターに絵を書いて、分団員であるお父さんたちに出動や訓練から帰って来た時にホッとしてみらい、また、地域の人たちにもシャッターの絵を通して消防分団の活動を知ってもらって、地域の防災意識を高めま

す。これまでに、シャッターの掃除や採用するデザインの検討、シャッターへの下書きを行いました！

10月には実際にペイントとコーティングを行う予定です。

## 高知市立介良中学校生徒会

～介良の史跡を知ってもらおうプロジェクト～

自分たちの住む介良地区にたくさん残っている史跡を、より多くの方々に知ってもらうため、史跡の案内標識を整備します。

8月には、地域の方に案内していただき、実際に史跡を巡ってきました。

今後は、史跡の案内標識の整備に向けて準備をしています！

整備後はオリエンテーリングや、史跡めぐりスタンプラリーなどの実施を予定しています。

## 高知市立横浜中学校生徒会「横中ボランティア

～笑顔あふれるまちづくり！「花いっぱいグリーンアップ」大作戦～

地域での清掃ボランティアや、地域を花いっぱいにする活動を通して、地域の方々の交流を深め、まちづくり活動を連携して行い、地域が、より活気づくことを目指します！

7月は『浦戸湾七河川一斉清掃』、8月は『88クリーニングウォーク四国』の清掃活動に参加しました。

9月には、地域を花いっぱいにするために、花の種まきをしました。

今後は、花の苗を育て、地域の道路脇の花壇や、保育園などの花壇に花を植えています。



## 太平洋学園コミュニティ協力隊

～学校と町内の皆さんとの交流を図り、より安心して楽しく暮らせるまち“ハッピーコミュニケーション”づくりを推進するボランティアプロジェクト～



あいさつの声かけや、地域行事への参加などの交流活動、地域の方々と協力して自主防災組織を設立するなどの防災活動、学校周辺や町内のゴミ拾いなどの環境美化活動、様々な活動を通して、学校と地域の方々の交流を図ります。

これまでに、『ハッピーコミュニケーション』第1号を発行して地域に配布し、10月からは毎週金曜日の12:30～13:00の間、栄田町西公園の美化パトロールを開始しました。

★12月15日(土) 10:00～16:00 栄田町西公園で保育園児や老人会をご招待し、バザーや餅つきなどの地域交流を実施予定です。

## 地域記憶プロジェクト実行委員会

～地域の記憶を地域で守ろうプロジェクト～

高知東高校がある、一宮地区の歴史資料を、地域の方たちと一緒に調査し、地域の記憶を、かけがえのない「地域の歴史」として未来に伝えていきます。

7月には、自分たちの活動を広く知ってもらうために説明会を開催しました。8月には、講習会を開催し、歴史資料の整理保存や調査の仕方などを地域の方と一緒に学習しました！

今後も調査を継続して、目録・報告書を作成する予定です。



## PAPAS

～Good Bye RAKUGAKI (in our city)～



高知丸の内高校がある、中心市街地周辺から落書きを無くす活動を通して、住んでいる方々が嫌な思いをすることなく暮らせる、また観光客から「高知には落書きが全くない！また来たい！」と言ってもらえるような、きれいなまちにすることを目指します！

8月には、落書き場所の地図を作成するとともに、ボランティア募集のポスターを作成して、校内で呼びかけました。

10月からは、実際に落書きを消す活動を始めます。

★11月18日(日)、25日(日)に柳町通り周辺の落書き消し活動を実施予定です！

## 審査副委員長コメント

白熱した審査会から早くも3か月が経ち、プロジェクトがスタートしました。その報告を「こうちこどもファンド通信」や、ホームページ等を見て、改めてこの事業に参加をした子どもたちの行動力と発想力に、賛辞を贈りたい気持ちになりました。どのチームも、大人とは違った素晴らしい個性や想像力に優れており、実行することによってその輝きがどんどん増しているのだと思うと楽しくなってきました。

活動をしていくなかで、困ったことや難しい事など様々な場面に遭遇しながらも、一生懸命仲間と力を合わせて頑張る姿勢は頼もしい限りです。

自分達が住む街をこれからのようにしたいか、どのような街になって欲しいかを、子ども目線で真剣に考え、意見を出し合い夢の実現に向けて実行していくことは、このプロジェクトの大きな意義・目的であり、参加できなかつた子どもたちにも大きな刺激や影響を与えていくのではないのでしょうか。この活動を通して、仲間との連帯感を深め、仲間と共に味わう達成感は素晴らしい思い出になると思います。同じ思いの仲間もどんどん増えていくことにも期待が持てます。大きな一歩を「こうちこどもファンド」の第一期生が踏み出したことは、これからの高知にとっては大きな力となると思います。

来年3月の報告会で、体験できた成果の発表を聞けることをすごく楽しみにしております。



古谷 純代さん  
(高知県商工会議所  
女性会連合会会長)